

日本社会事業大学・同大学院入学式 激励のことば

みなさん、ご入学おめでとうございます。

最初に、みなさんでお互いにお祝いの言葉を掛け合いましょう。

学生のみなさん、保護者の皆様も、お隣の方と元気に「おめでとうございます」と言い合って、握手をしましょう。

それではどうぞ。

ありがとうございました。

改めまして、日本社会事業大学、並びに、日本社会事業大学大学院にご入学のみなさん、ご臨席の保護者の皆様、本日のご入学、心からお祝い申し上げます。

「おめでとうございます」

教育後援会は保護者の皆様の会費や寄付金によって運営されています。主な活動内容は、秋の大学祭である「社大祭」やサークル・ボランティア活動への援助、スタディツアーなど海外交流事業への援助、学習環境向上のための支援、社会福祉士模擬試験の受験料援助などを行っています。

私の長女が学部4年です。私も社大出身で、学部は原宿校舎で、大学院はここ清瀬で学びました。

みなさんは、どんな夢や希望を持ち、何をやりたくて社大に入学しましたか。

これから始まる学業、サークル活動、アルバイトなど多彩な経験を通して、その思いを実現してください。学生生活を楽しみ、充実したものにしてください。

保護者の皆様は少し心配かと思いますが、恋愛もしてください。

大学院生には現場の実践をより良くしていく研究、現場を応援する実践研究や制度・政策研究に真摯に取り組んでいただくことを期待します。

さて、社大は今年創立70周年を迎えますが、みなさんは特別良い年に入学されましたね。

ここで、唐突ですが、社大が100周年となる30年後を想像してみてください。

30年後の福祉は、どうなっているのでしょうか。

学部のみなさんであればもうすぐ50歳です。働き盛りで、福祉の様々な分野で、全国の様々な地域で、さらには全国規模、地球規模で大活躍されていることでしょう。

今日という日を、30年先に向かって大きな志を抱いて歩いていくスタートの日にもしてください。期待しています。

最後になりますが、学生のみなさんにお願いがあります。大学生活の様子を保護者や家族の方に話してください。特に親元を離れて生活するみなさんは連絡を入れてください。保護者の方は楽しみに待っていますよ。

保護者の皆様も、秋の社大祭や6月の社大福祉フォーラム、さらに大学創立70周年の催しなどにぜひご参加ください。また、ホームページを通して大学の動きをご覧になってください。

そして、教職員の皆様からは、学生へのきめ細かく全面的なご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

学生のみなさんは社大の主人公です。みんなで手をつなぎ、心をつないで、思う存分学び、これからの社大を、そしてこれからの福祉を創って行ってください。

平成28年4月5日

日本社会事業大学教育後援会 会長 渡邊 豊